

ヘルシーカフェのら

【キーワード】

〔施設種別〕 ☐ 高齢者施設 ☐ 障がい者施設 ☐ 子ども施設 ☒ 住宅（店舗付き住宅）
〔運営主体〕 ☐ 市区町村 ☒ 法人 ☐ NPO ☐ 個人 〔補助金〕 ☐ 内閣府 ☐ 国土交通省 ☐ 厚生労働省 ☐
〔建物形式〕 ☒ 1 棟単体型 ☐ 複数棟集合型 ☐ 団地型 〔建物状況〕 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 改修 ☐ 一部改修 ☐ 既存
〔対象者〕 ☐ 高齢者 ☐ 障がい者 ☐ 子ども ☐ ファミリー ☒ 多世代



写真1. 正面写真

ヘルシーカフェのらは、大家さんである小峰弘明さんの実家の庭に建てられた店舗付き住宅の1Fにオープンされた、地産地消の手作り料理やスイーツを提供するレストランで、店内の奥には16畳の多目的スペースがあり、日々様々なワークショップなどが開催され、地域の方々の交流の場としても利用されている。

■施設概要

所在地：埼玉県さいたま市南区鹿手袋 7-3-2

施設種別：店舗付き住宅

延べ床面積：ヘルシーカフェのら 1F 113.82㎡

アパート部分 2F 87.32㎡

開設年：2009年11月

■事業の経緯

女性の自立や家族関係などをテーマとするワークショップを埼玉県内で展開している店主である新井純子さんが2005年にだしたレポート「コミレスは子育て支援の要」に共感した、大家さんであり、埼玉県庁で高齢者福祉、子育て支援などの仕事に従事している小峰弘明さんが2009年に実家の庭に店舗付き住宅を建て、その一階に地域の場となる「ヘルシーカフェのら」をオープンした。

■利用者について

営業日は火曜日～土曜日で、ランチタイムが11:30～17:00。ティータイムが14:00～17:00で、レストランとしての利用者数は日に20人程度。少ない日は10人程度になることもある。利用者の層としては、元々ターゲットにしていただけあって、就学前の子供をもつ親やその子供が多いが、ワークショップの参加者には地域の人はあまり多くない。



写真1. 周辺地図

武蔵浦和駅、西浦和駅、中浦和駅から等距離に位置する、住宅。周辺は住宅街で閑静とした雰囲気がある。



写真2. 子供のための絵本

ワークショップスペースには、子どもが飽きないように、絵本やおもちゃが置いてる。

■ワークショップについて

ワークショップは月に10回程度行っており、同じ内容のワークショップを開催する月もある。主催者の方はさいたま市内の人がほとんどで、ワークショップでつくられた作品などは次回以降の宣伝や販売のための商品にもなるよう、棚に陳列されており、店内の雰囲気を賑やかにしている。

店内には他にもワークショップの宣伝のために紙媒体のチラシを陳列できるフリースペースもある。

■運営について

事業をはじめるにあたり運営目標として掲げたのが、'高齢者支援、子育て支援' '横のつながりをつくる' '様々な技能を生かせる場の提供' である。

スタッフは、店主である新井純子さんのほか、調理長一人、調理スタッフ一人、週一回に働いている会計担当の方が一人、ほかボランティアとして土曜日に2人、不定期に2人参加している。1階の店舗を0円で貸出していることからこれだけの人件費を割り出すのが厳しい。そこでアパート部分の収入を人件費にあてて、黒字収入を継続しており、赤字経営は一度もないとのことである。

■内装のこだわり

気分を変えられる場所、若者にも気にいってもらえる場所を意識し、優しい印象とモダンな雰囲気を与えられるよう、壁の塗装や照明にも工夫をし、こだわりをだした。

■これからの課題点、解決策

レストランの利用者には地域の方も多いが、ワークショップの参加者はお店のHPやSNSを見て参加する方が多い一方、地域の住民の参加が少ない。今後の課題として挙げられるのがこの地域住民の参加を促進させることだ。



写真3. 下駄箱

女性への配慮として、長いブーツもいれられるように、板の取り外しが自由になっている。



写真4. トイレ前の洗面台

トイレのインテリアもこだわりをだした。ターゲットにしていた子育て世代の方に気に入ってもらえるように女性が好みそうなインテリアにしてあり、清潔感もある。



写真5. 入り口すぐのカウンター

お客様が来た時にすぐ迎え入れられように対面式のカウンターとし、そこには地域の地産物やチラシ、大家さんの小峰さんが刊行している鹿手袋新聞が並んでいる。